

- 令和5年3月に六角川水系六角川上流域(計33河川)を九州地方で初となる特定都市河川に指定(下流端:柵島橋)
- 令和5年6月に国、県、流域自治体等で構成される「六角川流域水害対策協議会」を設立
- 今回のパブリックコメント等を反映したうえで、令和6年度内に六角川流域水害対策計画を策定予定

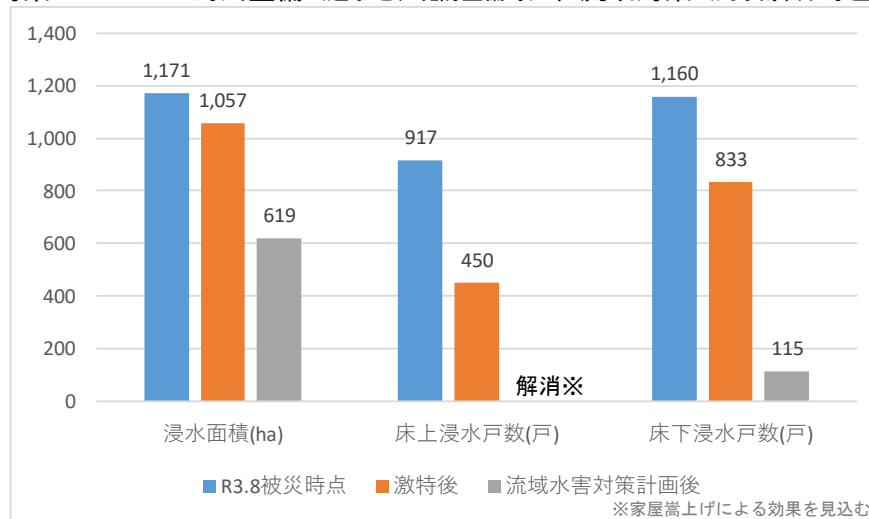
■六角川特定都市河川及び流域



- 特定都市河川(国管理区間)
- 特定都市河川(県管理区間)
- 特定都市河川流域
- 行政界

■計画に基づく対策の効果

- ◆計画対象降雨: 令和3年8月降雨
- ◆対策メニュー: 河川整備(遊水地、堤防整備等)、流域対策(雨水貯留、家屋嵩上げ等)



特定都市河川流域内における浸水面積と浸水戸数の変動

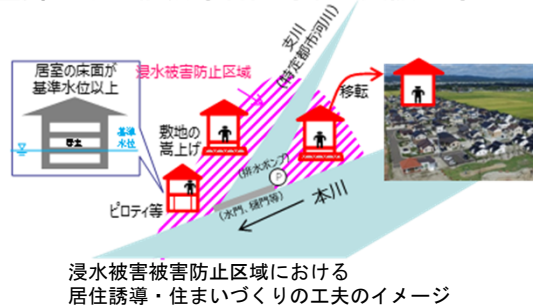
①氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策 (ハザードへの対策)

- ◆河川整備 ※下線は河川整備計画変更を想定した新たな整備メニュー
 - 六角川洪水調整池整備(六角川(武雄市))
 - 遊水地整備(武雄川、甘久川、馬神川(いずれも武雄市))
 - 堤防整備(高橋川、中野川、焼米入江(いずれも武雄市))
 - 河道拡幅(武雄川、甘久川、川添川、馬神川(いずれも武雄市))等



②被害対象を減少させるための対策 (暴露への対応)

- ◆浸水被害防止区域の指定の検討
- ◆貯留機能保全区域の指定の検討
- ◆家屋嵩上げ・移転等居住対策の支援 等



③被害の軽減、早期復旧、復興のための対策 (脆弱性への対応)

- ◆内水監視カメラ、浸水センサー等の設置
- ◆防災教育や防災知識の普及に関する取組
- ◆水災害リスク情報の充実
- ◆防災アプリによるリアルタイム情報の提供 等

